

発行 六会地区防災リーダー連絡会  
 事務局 六会市民センター 地域づくり担当  
 TEL 81-6677 FAX83-2298  
 編集担当自治会 ダイヤパレス湘南台Ⅱ  
 石川丸石・西俣野下・天神町

## 防災講演会の開催

これからの防災（with コロナ）～在宅避難・避難所等の課題とは～

今回は新型コロナウイルス感染者の増加に伴い、安全性を高めるため、会場の定員を2分の1（70人）とし、さらに参加者・スタッフ全員の体温測定、マスク着用、消毒の徹底等対策を徹底し講演会を実施しました。

講師 国崎 信江氏

参加者 65人

日時 2020年12月6日（日）午後2時開演

場所 六会市民センター



### 講師 プロフィール

危機管理教育研究所 代表

危機管理アドバイザー

【主な経歴】横浜市生まれ。女性や生活者の視点で家庭、地域、企業の防災・防犯・事故防止対策を提唱している。講演、執筆、リスクマネジメントコンサルなどの他、内閣府「防災スペシャリスト養成企画検討会委員」、東京都「震災復興検討会議委員」などを務め、ラジオやテレビ、新聞などで情報提供を行っている。



アンケートより

- ・大変分かりやすくテンポの良い講演会でした。
- ・各災害地で実際に対応した経験に基づく話、又コロナ対策、非構造物のリスク点検等非常に良かった。
- ・いざと言う時の心の準備、心がけを持つ事ができた。
- ・コロナ禍の具体的な起こりそうな避難所の問題点をわかりやすく説明された。
- ・講習を受けて、コロナ禍における災害を改めて考える機会となりました。
- ・普段から頼れる関係を築く関わりをどう作るか。

コミュニケーションは最大の防災力

# 災害時の心構え

## ・家族の連絡方法、連絡先の確認

災害は家族が揃っている時に発生するとは限らず、家族が別々の場所にいる時に起こる可能性もあります。あらかじめ、どの連絡方法を利用するのか、どの親戚や知人などに連絡するか、家族で決めておきましょう。同時に、連絡が取れない場合も考えて、待ち合わせ場所や避難場所を話し合っておきましょう。

## ・「171災害用伝言ダイヤル」の利用方法

災害発生時は、被災地域への電話が殺到することで、電話がつながりにくくなり、安否確認などに支障が発生する場合がありますので、「171災害用伝言ダイヤル」を活用しましょう。

### ～メッセージを残す～

- 1 171をダイヤル
- 2 「1」（録音）を選ぶ
- 3 自分（被災地）の電話番号をダイヤル
- 4 メッセージの録音

### ～メッセージを聞く～

- 1 171をダイヤル
- 2 「2」（再生）を選ぶ
- 3 被災地（相手）の方の電話番号をダイヤル
- 4 メッセージの再生

## ・避難場所、経路を確認しておこう

避難場所や広域避難場所への経路について休日などを利用して、昼間や夜間、それぞれ実際に歩いてみましょう。また、ハザードマップや被害想定によって自分たちの住む地域のリスクも確認しておきましょう。

市のホームページのトップページにある「防災インフォメーション」から情報が確認できます。

## ・わが家の安全を確認しておこう

災害が起きた時イメージして、家の中に危ないものや注意することはないか、日頃から確認しておきましょう。

- ・万が一倒れてきたら危ない向きの家具はないか
- ・避難経路をふさいでしまうものはないか・・・など

※防災リーダー連絡会の活動の様子や過去のリーダーニュースを  
ご覧になりたい方は、《六会地区ポータルサイト》をご覧ください。

**六会地区ポータルサイト**

**検索**

もしくはQRコードで⇒

